

めぐみイエス・キリスト教会

2019年1月27日(日)新年第四主日礼拝
週報「通算第441号」



2019年標題聖句

第Ⅱペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまづくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～6時45分
聖書研究・祈祷会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年1月27日(新年第四主日礼拝)
第一礼拝 午前10時より 第二礼拝 午後6時より
司会(奏楽) 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌343 「罪に満てる世界」 p. 546

【交読文】 No.26 詩篇第84篇 p. 899

【賛美Ⅱ】 新聖歌233 「驚くばかりの」 p. 354

【使徒信条・主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.14 「み言葉に帰ろう」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書17章6節(新約p. 197上段左側)

【祈 禱】

【説 教】 《あなたの御名とは?》 鈴木 竜実 牧師

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌162 「ハレルヤハレルヤ」 p. 232

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所【ヨハネの福音書17章6節】

17:6 「私は、あなたが世から取り出して私に下さった人々に、あなたの御名を明らかにしました。彼らはあなたのものであって、あなたは彼らを私に下さいました。彼らはあなたのみ言葉を守りました。」

●ポイント1 「モーセに答えられた御名」とは?

※出エジプト記3章13節～15節「神の山・ホレブにおいて」(旧約p.91上段)

3:13 モーセは神に申し上げた。「今、私はイスラエル人のところに行きます。私が彼らに『あなたがたの父祖の神が、私をあなたがたのもとに遣わされました。』と言えば、彼らは、『その名は何ですか。』と私に聞くでしょう。私は、何と答えたらよいのでしょうか。」

3:14 神はモーセに仰せられた。「私は、『私はある。』という者である。」また仰せられた。「あなたはイスラエル人にこう告げなければならない。『私はあるという方が、私をあなたがたのところに遣わされた。』と。」

3:15 神はさらにモーセに仰せられた。「イスラエル人に言え。あなたがたの父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神、主が、私をあなたがたのところに遣わされた、と言え。これが永遠に私の名、これが代々にわたって私の呼び名である。」

※ヨハネの福音書8章58節「ユダヤ人へのイエス様の言葉」(新約p.178上段)

8:58 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。アブラハムが生まれる前から、私はいるのです。」

※使徒の働き7章30節～32節前半「ステパノのメッセージ」(新約p.220上段)

四十年たったとき、御使いが、モーセに、シナイ山の荒野で柴の燃える炎の中に現われました。その光景を見たモーセは驚いて、それをよく見ようとして近寄ったとき、主の御声が聞こえました。

『私はあなたの先祖の神、アブラハム、イサク、ヤコブの神である。』

●ポイント2 「弟子たちに、ユダヤ人に与えられた名」とは？

※マタイの福音書6章5節～13節『主の祈り』において」(新約p.8下段右側)

※ヨハネの福音書8章53節～54節「主が言われる父とは？」(新約p.178上段)

8:53 「あなたは、私たちの父アブラハムよりも偉大なのですか。そのアブラハムは死んだのです。預言者たちもまた死にました。あなたは、自分自身をだれだと言うのですか。」

8:54 イエスは答えられた。「私がもし自分自身に栄光を帰するなら、私の栄光はむなしいものです。私に栄光を与える方は、私の父です。この方のことを、あなたがたは『私たちの神である。』と言っています。」

●ポイント3 「すべての人間に与えられた御名」とは？

※ルカの福音書2章21節「エルサレム神殿において」(新約p.100下段)

2:21 八日が満ちて幼子に割礼を施す日となり、幼子はイエスという名で呼ばれることになった。胎内に宿る前に御使いがつけた名である。

※使徒の働き4章7節～12節「使徒ペテロの証言から」(新約p.213下段左側)

◎先週のメッセージの概要【主イエス・キリストの栄光】

《今週からヨハネの福音書の学びに戻ります。17章はイエス様のお祈りです。

さてイエス様は、「あなたが私に行なわせる為にお与えになったわざを、私は成し遂げて、地上でああなたの栄光を現わしました。」と、告白されました。

イエス様が成されたわざは、父なる神様がご計画されたわざであることを、主ご自身が、ユダヤの指導者たちに、明確に証しています。

「まことに、あなたがたに告げます。子は、父がしておられることを見て行なう以外には、自分からは何事も行なうことができません。父がなさることは何でも、子も同様に行なうのです。それは、父が子を愛して、ご自分のなさることをみな、子にお示しになるからです。それはあなたがたが驚き怪しむ為です。」

このことから、いかにイエス様が、いつも一人寂しい場所に退かれて、父と祈っておられたことが分かります。祈りは決して一方通行ではないのです。

私たちも主と同じです。万人祭司である私たちは、祈りにおいて、主の御名によって父なる神様に願うことが出来るのです。

イエス様は「父よ、み側で私を栄光で輝かせて下さい。世界が存在する前に、ご一緒にいて持っていました栄光で輝かせて下さい。」と言われました。

パウロはこのように述べています。

『「キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることができないとは考えないで、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。キリストは人としての性質をもって現われ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。』と。

神の御子であられるイエス様は、ご自身から、本来持つておられる神の力を制限され、私たちと同じ人となってこの世界に来て下さいました。そして父なる神様によって計画された罪の贖いの為、十字架にかかります。しかし三日目によみがえられます。その時、主イエス様は、本来あるべき姿に、すなわち神様に戻られ、そして、栄光をお受けになられるのです。これこそが真理なのです。すべてが主イエス・キリストから始まり、そして終わるのです。》

◎お知らせ

※次回の礼拝は2月3日(日)です。第一礼拝は通常通り午前10時からです。第二礼拝は、都合によりお休みとなります。ご注意ください。また次回の聖書研究会・祈祷会は、1月30日(水)午後6時15分から行ないます。

